

小樽市生活支援体制整備事業 第1層生活支援コーディネーター業務
実施計画書（令和3年度）

1 業務の活動計画

仕様書5（2）生活支援等サービスのコーディネートに関する業務	
ア 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	
業務の実施方法	① 各第2層コーディネーターとの面談において、地域のニーズや課題を確認 ② 地域にある資源について、現状と課題の聞き取り調査を行う。
活動目標及びその件数等	資源の利用状況について把握できる 地域課題と現行の資源のマッチング状況が把握できる
業務スケジュール	各コーディネーターと月1回程度の面談
イ 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ	
業務の実施方法	生活支援体制整備事業についての啓蒙活動の継続 地域懇談会の開催で、現行のサービスをより活性化する方法を探る
活動目標及びその件数等	多様な主体によるサービスの利用件数が増える 目指す地域の姿を共有できる
業務スケジュール	月1回程度の開催で各地域を巡回
ウ 関係者のネットワーク化	
業務の実施方法	各第2層コーディネーターとの面談等において現状のネットワーク状況を把握する
活動目標及びその件数等	顔が見え、中身がわかる見通しのよい関係が形成される。
業務スケジュール	年間通じて訪問、電話等で随時
エ 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一	
業務の実施方法	① 各第2層生活支援コーディネーターとの面談において明らかになった地域のニーズや課題を市全体で共有する ② 生活支援体制整備事業の目的を啓蒙するためのリーフレットや動画を作成する ③ 地域住民を対象とした研修会の開催
活動目標及びその件数等	市の方針を踏まえ、市全体の課題を明らかにし解決できる方法を探る。 市が目指す地域の姿を、市民が知ることができ共感を得られることができる。
業務スケジュール	市の担当者との会議（2ヶ月に1回程度） 地域づくりの興味のある有志を募集、その後定期的な検討会を行う（都度） 研修会の開催（年1回）
オ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発	
業務の実施方法	① 関係者、現行の担い手に対し介護予防ケアマネジメントの考え方の啓蒙研修活動 ② 生活支援の担い手を養成するための講座を開設する

活動目標及びその件数等	現行サービスの担い手と相談しやすい関係づくりができる 生活支援の担い手を養成し運用することができる
業務スケジュール	① 研修会の開催（年1回） ② 前期で講座内容を検討し、後期で開催。フォローアップ講座を含め、1講座5回で養成する
（3）第1層生活支援体制整備協議会との連携・協働に関する業務	
業務の実施方法	協議会の開催 第2層協議会との情報共有
活動目標及びその件数等	目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一できる
業務スケジュール	年間4回程度とし、進捗状況により調整する。
（4）第2層生活支援コーディネーター及び第2層生活支援体制整備協議会との連携・協働に関する業務	
業務の実施方法	① 各第2層コーディネーターとの面談において、地域のニーズや課題を確認 ② 各第2層生活支援体制整備協議会の傍聴
活動目標及びその件数等	① 各地域のニーズや課題を第2層生活支援コーディネーターと共有できる ② 協議会の活動状況が把握できる
業務スケジュール	第2層生活支援コーディネーター訪問を月に1回程度 協議会への参加は、開催日程に準ずる

2 国や都道府県等が実施する研修の受講や視察等の予定

- ・北海道生活支援コーディネーター養成研修等の受講
- ・近隣町村の生活支援コーディネーター業務の見学

3 業務全体のスケジュール

	(2)ア	(2)イ	(2)ウ	(2)エ	(2)オ	(3)	(4)
4月	月1回 程度		随時	1回		1回	月1回 程度
5月		1回			計画		
6月		1回		1回			
7月		1回				1回	
8月		1回		1回			
9月		1回			講座 開始		
10月		1回		1回		1回	
11月		1回		1回			
12月		1回		1回			
1月						1回	
2月				1回			
3月							